



予算審査のあらまし

予算特別委員会を設置

2月21日の本会議において、予算特別委員会を設置し、平成26年度各会計予算および平成25年度各会計の補正予算の審査を付託しました。

引き続き委員会を開会し、委員長、副委員長および理事を選出しました。

- ▽委員長 鈴木真澄
- ▽副委員長 塚本よしひろ 木村けんご
- ▽理事 須貝行宏 石田ちひろ

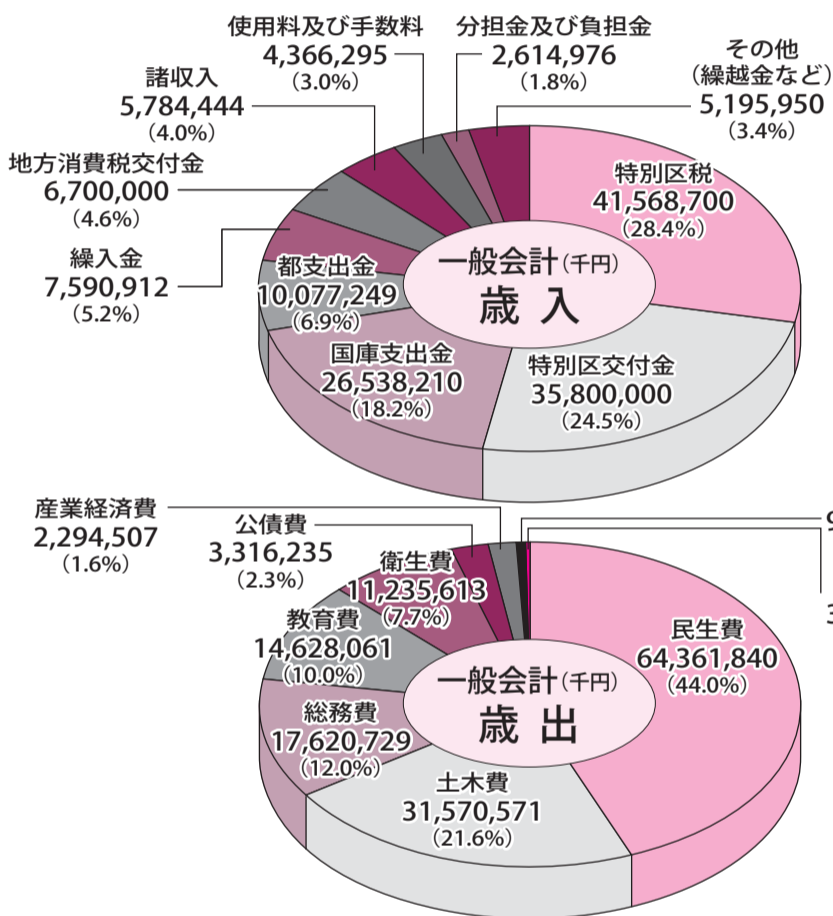
委員会は3月3日に、平成25年度の各会計補正予算の審査を行いました。同日採決を行った結果、一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計は全会一致で可決すべきものと決定しました。翌日4日からは平成26年度予算の審査に入り、17日までのうち計8日間審査が行われました。

最終日3月17日には、各会派より意見表明が行われ、採決の結果、一般会計、国民健康保険事業会計、後期高齢者医療特別会計、介護保険特別会計はすべて賛成多数で可決すべきものと決定しました。

平成26年度予算の概要

(単位：千円)

会計	予算額	前年度当初予算額	伸率
一般会計	146,236,736	133,154,385	9.8%
国民健康保険事業会計	38,666,090	37,887,806	2.1%
後期高齢者医療特別会計	7,529,901	7,249,844	3.9%
介護保険特別会計	22,300,108	21,137,745	5.5%



平成25年度補正予算

一般会計補正予算は、総額8億6千600万2千円を追加し、最終予算額を1千347億3千451万2千円としました。主な内容は、歳入は特別区税・特別区交付金等の増、繰入金・国庫支出金等の減であり、歳出は総務費等の増、土木費等の減です。

会計	補正額(千円)	最終予算額(千円)
一般会計補正予算	866,002	134,734,512
国民健康保険事業会計補正予算	755,066	38,642,872
後期高齢者医療特別会計補正予算	△305,475	6,944,369
介護保険特別会計補正予算	85,250	21,222,995

予算特別委員会総括質疑

予算特別委員会の8日目に、各会派を代表して10人の委員が、各会計歳入歳出予算の全般にわたって総括質疑を行いました。以下、概要をお知らせします。

大沢 真一 委員(自民)

1 予算編成と地方分権の推進(予算編成の留意点、執行段階の予算の管理・統制、分権に向けた区の取り組み)について
2 議会と区の関係(プレス発表資料の位置づけ、予算審議と事業実施の関係等)について

伊藤 昌宏 委員(自民)

1 オリンピック・パラリンピック開催に向けた区の取り組み(区長の構想等)について
2 高齢者対策(施設補助等の新たな施策、高齢者の見守り等に際する社会資源の活用等)について
3 防災対策(年齢に応じた防災教育の充実等)について

山元けい子 委員(公明)

1 ロコモティブ・シンドロームの予防(区の認識と周知状況、区民健康づくりへの反映、区独自のロコモ防止体操の創設等)について
2 しながわ花海道等の拡充(観光スポット化、両岸の回遊性向上の取り組み等)について

あくつ広王 委員(公明)

1 地域包括ケアシステムにおける認知症対策(早期発見と早期診断小規模多機能型居宅介護のメリット・デメリット等)について
2 マイナンバー制度導入とシステムの効率化(対象業務とスケジュール、制度導入による区民へのメリット等)について

大倉たかひろ 委員(民・改)

1 保幼小の連携(研究の評価と今後の展望等)について
2 桜やお祭りを生かした観光・イベントについて
3 エネルギー施策(第二次環境計画における地球温暖化等の位置づけ等)について

井上八重子 委員(民・改)

1 特別支援教育(学校教育法施行令の一部改正等)について
2 リニア中央新幹線の環境影響評価(事業概要、区への影響、区民への情報提供等)について
3 市民参加のまちづくり(区民の意見を直接聴く機会の確保等)について

藤原 正則 委員(み・無)

1 区の財政(国の財政と区の経済状況の認識、財政調整制度の課題と今後の取り組み等)について
2 子育て支援(今後の待機児童対策の取り組み、新制度の変更点と保護者への説明、すまいるスクールと児童センターの連携等)について

原 浩三 委員(み・無)

1 精神疾患(区内の自殺者数と区職員の休職者数等、「生きる力」育成に向けた教育課程での対応等)について
2 区民の財産(景観条例等)に基づいて

飯沼 雅子 委員(共産)

1 高齢者福祉・児童福祉の施策等(村山談話の解釈、日本非核宣言自治体協議会への再加入の考え、保育園入所第2次申請者数・不承諾者数・内定数等、屋外遊戯場設置に係る区独自基準の策定等)について

鈴木ひろ子 委員(共産)

1 防災および道路整備事業(放射2号線の幅員・車線数等、星薬科大学の延焼遮断帯としての位置づけ、補助29号線の長さ・沿道世帯数等および事業認可の状況、「交通の円滑化」に係る住民への説明等)について